



水の中は気持ちいい！（斗賀野小学校）

さ
わ

Sakawa

83

2020.8.1

議会だより

発行 高知県佐川町議会

6 月定例会

contents

目次

5 月臨時議会 2

6 月補正予算可決 3

新図書館整備基本計画策定業務修正 5

一般質問

新型コロナ関連質問 7 ～ 14



今年はささやかに七夕まつり

令和2年第1回佐川町議会臨時会議案内容

臨時会は、5月14日に開かれ、議案、報告、承認など6件を審議し採決の結果、賛成全員または賛成多数で全件を可決しました。令和2年度一般会計補正予算（第1号）において、コロナ関連予算13億734万円の補正があり、そのうち、町独自施策として「コロナに負けん！チーム佐川支え合い基金」に3千万円、子育て世帯給付金（1人1万円）に2,800万円などの予算が補正されました。

議案質疑

令和2年度 一般会計補正予算

松浦議員 コロナ禍で困っている人は大変多い。特に飲食業の人は、もう限界に達している。

こうした窮状を4月13日に町長・副町長に直訴し対策をお願いしたところであるが、それから1カ月を過ぎ他の市町村はいろいろな施策がどんどん打ち出されているが、佐川町は、目に見えるものは何も進んでいない。

なぜ住民の生活と命を守るため、スピード感を持った判断ができないのか。

町長 提案をしつかり受け止め、1日でも早く出来るよう取り組みたい。

坂本議員 国の助成金や給付金の申請をしたいと思う人が申請するにしても、オンライン申請のた

めパソコンがなければ申請が出来ない。こうした人たちが町がサポートできないか。

副町長 こうした申請などのサポートについては、今、商工会と協議中であり人材確保も含め早急に検討したい。

西森議員 コロナ対策の対応が非常に遅い。町長は以前から、いざという時にはリーダーシップを取って、しっかりとやる言っているが、今、前を切つてやらなければやる時はない。

また、コロナ禍で仕事

がなくかなり困っている人も多い。これから町民税や国保税などが目白押しだが、払いたくても払えない人が出てくると思う

が、こうした人たちが追い詰められ、途方に暮れることのない様に救済対策をとって、町民にしっかりと寄り添ってもらいたいがどうか。

町長 チーム佐川支え合い基金については来週、運営委員会を予定している。すぐ結論を出して支援したい。

産業振興課長 県の休業

要請協力金として町の負担金10万円と、県の20万を合わせて30万を支給する。

税務課長 仕事がなくなつて払えないという状況の中で、今の減免制度が使えるか、またそうした事が、新たに追加出来るか検討する。



橋元議員 困っている町

民が相談できるのは、やはり役場と思うが、5月号の広報で配布した健康問題と生活問題、職業の問題での問い合わせ状況はどうなっているのか。

健康福祉課長 健康や生活相談の問い合わせはない。

産業振興課長 休業要請協力金の問い合わせが10件ほどあり、また、来庁者もあり必要な手続きについて説明した。

永田議員 町内の宿泊、飲食業、また、観光産業などは大変な窮地に追い込まれている。県下の自治体では、1事業者に100万円支給しているところもあるが、佐川町は何をしているのか見えてこない。

町民は血を流している。対策が遅く、もう救急車では間に合わないが、町長はドクターヘリを飛ばす考えはないのか。

町長 多くの議員から厳しい指摘があったので、できる限り早く困窮している町民の支援をしたい。

一般会計 6月補正予算 2億2,604万円の 増額補正を可決

6月定例会は、6月5日から11日までの会期で開かれました。

令和2年度一般会計補正予算（第2号）に対して、修正動議が提出され、審議の結果、賛成多数により修正案を可決しました。

また、修正部分を除く補正予算、条例改正、契約締結など議案14件、同意案10件、報告1件、意見書1件を審議し採決の結果、賛成全員または賛成多数で全件を可決しました。

一般質問には、8人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

令和2年6月補正予算

(単位：円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		2 億 2,604 万	93 億 4,251 万
特別会計	国 民 健 康 保 険	710 万	19 億 6,937 万
	介 護 保 険	△ 39 万	18 億 5,874 万
	後期高齢者医療	142 万	2 億 3,368 万
	農業集落排水事業	59 万	3,622 万

6月定例会で決まりました

人 事

農業委員

藤原 健祐 氏

佐川町甲350番地1

田村 和弘 氏

佐川町中組50番地7

森田 有紀 氏

佐川町西組842番地1

氏原 延氏

佐川町永野495番地

田村 公史 氏

佐川町永野1107番地1

佐藤 良一 氏

佐川町西山耕69番地

横畠 悦子 氏

佐川町黒原4722番地

工事請負契約締結

佐川町役場庁舎非構造部

材等耐震改修工事

(契約の方法)

一般競争入札

(契約金額)

3億1,369万8千円

(契約の相手方)

株式会社 晃立

令和2年度

佐川町総合文化センター

大規模改修工事

(契約の方法)

一般競争入札

(契約金額)

3億3,897万6千円

(契約の相手方)

新進建設株式会社

横畠 増吉 氏
佐川町庄田541番地

北添 正男 氏

佐川町加茂439番地

物品購入契約締結

消防団ポンプ自動車の購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

2,904万円

(契約の相手方)

株式会社 藤島

計画策定

加茂辺地に係る
総合整備計画の
変更

総合整備計画書の公共
的施設の整備計画に、産
業振興施設を追加し整備
するための、加茂辺地に
係る総合整備計画の変更。

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計補正予算

西森議員 ごみ収集委託料の63万円とはどのような業務をどこに委託するのか。

町民課長 高齢者や障害者などの方で、ごみ出しが困難な世帯に対し、自治会等が、これを代行する場合に1件月1千円を払う。

西森議員 新図書館整備方針策定業務委託料1千276万円はどんな内容か。
教育次長 不動産鑑定評価が63万円、用地測量が180万円。基本計画策定業務が約1千33万円。

松浦議員 ごみ収集委託業務については、委託先として自治会を想定しているが、自治会に加入していない人がある。問題があるのではないか。

町長 この制度をスタートする前に、しっかり説明するべきであったが、自治会ができないのであれば、シルバー人材センタに依頼するとか臨機

応変に対応する。まずはこの制度でスタートする。



橋元議員 給与費明細書では、職員が3名減となっている。コロナ対策で多忙な時期に補充はないのか。またどの分野で減っているのか。

総務課長 不測の退職者があった。また採用を予定していた職種で応募がなかったことによる。

中村議員 コロナで売り上げが下がっている業者を支援するためには、ソフト面の対策も必要と思うがどうなっているのか。

副町長 事業者を支援するためコロナ対策新規事業を組んでいる。今後はスタンプラリーなど、商店街の振興を図り、町内

で経済がまわる仕掛けをする。

中村議員 プールの補助金387万円とはなにか。

教育次長 プールの休業要請による損失補償。

永田議員 新図書館については、当議会の議案説明会で突然説明があったが、もつすでに予算に計上されている。議会としても昨日初めて上町の現地視察をしたが、かなり問題もあり、この予算を今議会で議論するには時間が全くない。もっと丁寧に議論すべきではないか。

町長 コロナ感染防止のこともあり、時間のない中での提案となり申し訳ないと思っている。

坂本議員 新型コロナ対策新規事業支援補助金として200万円が組まれているが、この内容と支援対象者はだれか。

産業振興課長 コロナの影響を受けている人での対策として、新商品の

開発や新たなサービスの提供をする人を想定している。補助率は3分の2で最大10万円。

坂本議員 保育対策総合支援事業補助金250万円の内容は何か。

健康福祉課長 感染予防対策として、マスクやアルコール類など、幅広く対応するため、私立5園に対し、1園50万円の補助をする。



教育長の通勤手当 削除について

松浦議員 教育長の通勤手当を削る根拠は何か。またなぜこのタイミングか。

総務課長 4月に監査委員から指摘があり、県下

市町村の状況を確認したところ、29市町村で支給がない。残る5市町で、町長・副町長・教育長のいわゆる三役のうち、佐川町のみが教育長に支給しているのでこれを削除するもの。

役場庁舎工事 請負契約について

西森議員 今回の役場庁舎の改修工事は一般競争入札となっているが、そのメリットがいかにされていない。一般競争入札というのは、原則価格で勝負するもの。今回の予定価格は、3億880万円で最低制限価格を90%に設定したため応札した5業者が安すぎて失格となっている。本来なら1番安い業者が落札業者となるべきで、その差が2千688万円ある。この金額が町財政への損失となっていないか。

町長 入札に問題はないと考えている。

新図書館整備基本計画策定業務 補正予算を修正

図書館建設の経緯

平成24年11月、4千237

名の町民の署名と共に、町民から図書館建設要望の請願書が出された。それを受け議会で検討し、請願書を採択した。

そのとき議会で「青山文庫との複合施設を検討するなど町財政状況等も踏まえ、慎重に検討の上、将来において文教のまちにふさわしい図書館の整備に努力すること」との附帯決議をつけた。

その後、図書館整備検討委員会が設立され、望ましい図書館について提言書を出した。

しかし複合施設に関しては、結論を出さず町にまかせる姿勢をとった。それを受け、町は図書館だけの建設の方向で動いていたが、議員の多数が複合施設との意見だったため、図書館・青山文庫・発明ラボの3施設を合築する方針に変更した。

町は、図書館整備方針策定委員会を設立して方向性を決めて、土地の交渉を進めた。

しかし、地主との条件が折り合わず、建設場所が白紙になった。

次の候補地については、前回の反省のもと、合意が出来るまでは公表しない方針で話を進めてきた。

新たな候補地について、議長・副議長には、簡単な説明があった。それに対し、面積等に

ついての疑問を投げかけたが、問題ないとの回答であった。

議員全員が、場所・建物について聞かされたのは、5月25日、議案説明会においてだった。

その会で教育委員会は、歴史的文化的に大切な地域であり、文化財を守るためにもその場所が最適ではないかと提案した。歴史を感じられる場所であり、いいのではないかとという意見がある一方、狭すぎるのではない

か、青山文庫が2階になるのは納得できないなど、様々な意見が出る中、6月10日の現地視察となった。

現地視察後の全員協議会において、説明不足と事業の進め方について、町長が不備を認めた。それがまさに議決する1日前だった。

議会では、修正動議が出され、賛成多数で新図書館整備基本計画策定業務委託に関する予算が削られることとなった。

施設建設に関しては、青山文庫だけにして図書館は別の所に建てたらい、いや複合施設が望ましいなど様々な意見があった。



現在の青山文庫



現在の図書館

一般会計補正予算
修正動議（要旨）

提出者 西森勝仁
賛成者 松浦隆起

図書館並びに青山文庫の新築移転は町民の積年の願いでもある。町長は、昨年6月議会において2千㎡程度の複合施設を10億円かけて建設すると表明していたが、今年に入り、用地交渉が合意に至らず断念したとのことであった。

そして、本6月定例議会に突然新しい候補地を上町とし、その関連予算を計上しているが、議会としても昨日初めて現地を視察しただけで十分な調査は全くできていない。

このような状況で議決となると将来に禍根を残すことは、火を見るより明らかである。

この施設は、当然のことながら建築することが目的ではない。将来にわた

たって永く多くの町民に親しまれ、活用されるべきものである。特に青山文庫には貴重な収蔵品が多くあり、良質な環境で管理されなければならず、また来場者の駐車場も必要である。

こうした重要案件が議論もされずに議決されるということは、町民に対し、説明責任が果たせない。

よって、今回補正予算に計上されている新図書館整備方針策定業務委託のうち、新文化拠点整備基本計画策定委託費1千33万円を削除する修正動議を提出する。

採決の結果
10対3で可決

6月
補正予算
ピックアップ

佐川町地域介護福祉空間整備事業
2292万円

非常用自家発電装置を整備する、医療法人への補助金の増額補正。

小中学校教育振興総務費
1億589万円

昨年度に引き続き、IGAスクール構想の実現に向け、児童生徒に1人1台（813台）の端末整備とWi-Fi環境、通信速度強化整備に係る費用の増額補正。

各議員の意思表明

賛否表（令和2年6月定例会）

○：賛成

●：反対

-：議長

欠：欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
令和2年度佐川町一般会計補正予算（第2号）：修正部分を除く	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	●	●	●	-	○	●	●	○
佐川町長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
加茂辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
農業委員の認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の認定農業者等に準ずる者を任命することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町農業委員の任命について：9人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度 佐川町一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

8人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

行動記録表・健康観察表 作成を改めて求める

町長 担当課に指示し対応する

健康観察票

です。次のような症状があれば、高知県の新型コロナウイルス健康相談センター
発熱などの強い症状がある
1中の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある
にいます

発熱	咳	息苦しさ	味や匂いを感じない	喉の痛み	頭痛	倦怠感	その他
あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

行動記録票

氏名

場所	行動内容	接触した人	連絡先
〇〇	職場に出勤	〇〇部長、△△課長	株式会社〇〇 0000-11-2222
〇〇	友人と食事	佐川太郎（友人）	1111-1111-1111

念のために行動記録

新型コロナウイルス感染症に関連して、行動記録表の作成を求めてきた。経緯は再度言わないが、ここまで住民の声、議員の要望を、ある意味無視されていると受け取っている。これは、二元代表制の否定だ。

行動記録表と併せて健康観察表を作成することを改めて求めたい。

堀見町長 決して、議会、議員の皆さまを軽視していることではないことは、ご理解いただきたい。

行動記録表と健康チェックの資料については、速やかにホームページ上に、アップするよう、担当課に指示し、対応させていただく。

特別定額給付金・ダウンロード式申請方法

検討されなかったか

町長 アイデアが出なかった

特別定額給付金の申請について、真に困っている人に1日でも早く給付を行うために、郵送申請よりも早く、ホームページ等から、ダウンロードした申請書で先に申請を受け付け、給付する自治体が多数あったが、本町では検討されなかったのか。

堀見町長 庁議でも協議し、対策会議でも検討したが、ダウンロード式ということは誰からもアイデアが出ずに、「そういう取り組みをしている自治体があるんだ」と、後から分かった。

町長 改めて検討し結果を伝える

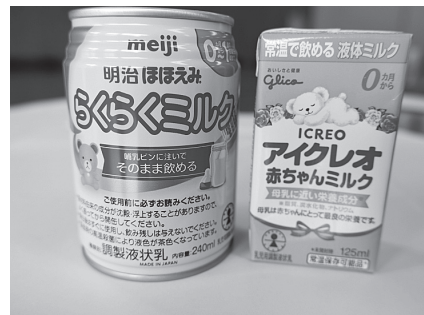
災害時の備蓄品として、液体ミルクの備蓄について、平成30年12月定例会において質問し、「有効性が高いので、前向きに検討を進めたい」と答弁があり、備蓄をするものと理解していたが、少し前に確認をすると、「備蓄しない」ことになっていると聞いた。これでは信頼して、この場で質問

し、答弁を受けることはできない。新型コロナウイルス感染症対策としても、個別に渡して使える液体ミルクは、備蓄するべきだ。すぐに備蓄品に加えるよう求めたい。

堀見町長 改めて、しっかりと検討して、急ぎ、6月中に検討した結果を松浦議員に伝える。

液体ミルク

備蓄するべきだ



子育てに安心を！



西森 勝仁 議員

コロナ対策 もっと寄り添えないか

町長 寄り添い支援

今回のコロナ禍で、困っている人たちに対する救済措置について、町民の声は「佐川町は、遅いわ、少ないわ、町長は一体何を考えちゅうろう。」と言つ不満の声が強い。こんな時こそ、しっかりと町民に寄り添うべきではないか。

また、家庭ごみ収集業者は毎日毎日町内を廻

奨学金制度

給付型の創設を

教育長 できるだけ早く検討

り、手作業で収集している。危険性は極めて高い。万一、感染者が出れば町内全域がクラスター源になる恐れがある。

町はどのように指導し、対策をとっているのか。また、費用は補填すべきではないか。

堀見町長 遅いと言つ人もいるかも知れないが、スピード感をもってやっている。今後、本当に困っている人には、しっかりと寄り添って支援をしたい。

和田町民課長 業者は、独自の対策で余分にマスク代等の追加負担が生じているが、これを町費で負担する考えはない。

佐川町の奨学資金貸付制度は、昭和32年に創設されている。以前は貸付金に利息が付いていたと思うが、こうしたものが積もって、今約6千万円の奨学基金があり、併せてふるさと寄附も好調である。

こうしたものを原資として給付型の奨学資金制度が創設出来ないものか。

苦学生にとっては、たとえ1日500円であっても命をつなぐことが出来る制度になると思うがどうか。



ありがとう！毎日のごみ収集

堀見町長 私の考えは、教育委員会に伝えてあるので、しっかりと結論を出してくれるものと思っている。

濱田教育長 日本学生支援機構の制度もよく調べ、出来るだけ早く検討する。

佐川町史の続編

進捗状況は

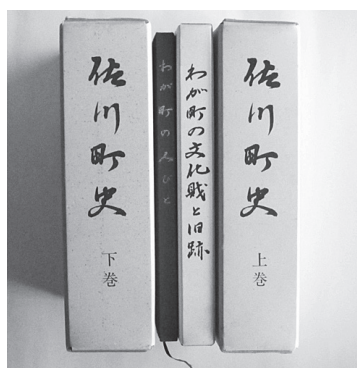
町長 町制施行130周年発行計画

現在の町史は昭和55年に発刊され随分経っているので、もうそろそろ続編を出さなければ、この間の史料は散逸する。史実を

知る人もどんどんいなくなっていく。今史実を書き残しておく事は、現在の町長の義務と責任ではないかと平成31年3月議会においてたまたした。

町長は、史実を後世に伝えていく事は、大変重要な事なので、新しく作ること前提に検討するとの事であったが、その後どこまで進んでいるのか。

堀見町長 町史を発行するには5年位の年数がかかるので、10年後の町制施行130周年に計画したい。



現在の町史



坂本 玲子 議員

コロナの影響で、事業者だけでなく、学生や不安定雇用の人にも困っている。就学援助、給付金、税の減免（国保税等）などの様々な施策がある。困っている人が相談したら1力所で、どんな施策が受けられるかを説明し書類の作り方を手助け

コロナの総合サポート 窓口設置を

町長 どの課でも対応する体制づくり

し、申請まで出来る。そんなコロナの総合お困りサポートの窓口を設置すべきではないか。

堀見町長 事業者向けには、総合窓口を作り対応している。各種税の減免は、収入が30%以上減額された方が対象となる。一つの窓口を作るのではなく、どの課で受け付けても、あちこちも行かなくても済むよう体制を作り、役場として対応していきたい。

これまでの教育の 改善すべき点は

教育長 生きる力を育む教育

コロナの影響で、子どもたちにとって、突然長い休みとなった。子どもも、家庭も、様々な困難があったと思う。休み中の子どもの姿はどうか。自ら考え、生きる力を持つ教育が必要だと思う。今までの教育の改善すべき点はどこか。就学援助、高校生、専門学生、大学生へのサポート、少人数学級の実現、給食の実施、図書館の開放等にも力を入れるべきだ。

濱田教育長 休校中、子どもたちには生活リズムに乱れが見られる。またゲームや携帯などの利用に課題がある。これまでなされてきた教育は、答えに対する到達の仕方を伝え、解答に到達することを目指していた。これからは、課題意識を持ち解決法を考え、試行錯誤を繰り返し最適な答えに行き着くと言った、生きる力が必要になる。学校教育も大きく姿を変えていくものと思う。図書館については、本は心を支えると思う。どうやって手渡すか工夫が大事と考える。



学校って楽しいな！

農業振興で

食料自給率向上を

産業振興課長 今後一層努めたい

農業や酪農に力を入れ、自給率向上をめざすべきだ。

また種苗法改正案が国で論議されているが、町として農業を守る、種を守る観点で県や国に働きかけて欲しい。

森田産業振興課長 農業の振興に対しては、道の駅の活用を踏まえ、生産力の向上や担い手の確保、基盤整備等により一層努めていきたい。

マスクが不足して困ったが、食料がなくなればもっと困る。食の安全を守るためには、豊かな田畑を守ることが大事だ。

種苗法改正については、農家への影響がないように、これからの動向を注視していきたい。



食は生命！



橋元 陽一 議員

保育園に求めた コロナ対策は

健康福祉課長 登園自粛を要請した

町内7園に要請したコロナ感染防止対策と、保護者の協力状況について、説明を求める。
また保育園からの要望はどうか。

岡崎健康福祉課長 4月17日の園長会で、協力可能な範囲での登園自粛を

お願いした。民間には登園する園児が減少しても運営費は減額しないと伝えた。

保護者には、保育料や副食費の減免措置を行うことなどを説明した。全7園405名中、370名から登園自粛の協力を得た。

消毒用アルコールなどの備蓄等の要望があり、1園当たり、50万円の防止対策費を予算化した。



子どもは元気が一番

コロナ感染者への対応はどうか。
今後町内で患者が発生した場合の対策は。

コロナ感染対策 高北病院では

病院事務局長 発熱外来診察室設置

渡辺病院事務局長 県から紹介を受けた濃厚接触者については、救急玄関前で、ドライブスルー方式のPCR検査を実施。

また、正面玄関横にテントを建て発熱外来診察室を設置し、診察検査を行った。

今後、県の要請を受けPCR検査の継続や医療用テント、ポータブルレントゲン機器などを導入して適切な対応をしていく。

産廃建設

予定地の調査は

町民課長 5月上旬に終了

建設予定地の電気探査と、ボーリング調査は終了したのか。ボーリングの箇所は増えていないのか。

調査結果の解析を誰がどのように進めるのか。調査で致命的事態が明らかになると、中止するとしているが、県の解析計画を把握しているか。

和田町民課長 5月上旬に調査は、終了したと聞いている。調査箇所は増えていない。

専門家委員会、空洞が発見された場所の対策の必要性、妥当性、工事

の必要性、妥当性、工事



しっかりと感染対策

施工の可否等について、専門委員に個別に意見聴取し、その意見を踏まえて県が最終的に判断する。

また、委員以外へのセカンドオピニオンも行うとの説明だ。

その他の質問

○子どもの学びの支援について

○新文化拠点整備基本構想について

○選挙管理委員会規則について



森 正彦 議員

新型コロナウイルスに関しての相談を、幅広くスムーズに受け付ける相談窓口があれば、町民が迷うことなく相談しやすい。そのことが安心感と信頼感につながり、課題の把握もできる。「新型コロナウイルスなんでも相談室」を開設すべきではないか。

新型コロナ対策

総合窓口設置を

町長 職員一丸となり対応



特別定額給付金受付はお済みですか？

堀見町長 特別定額給付金については、相談窓口を開所し対応した。事業者、個人の相談は、役場産業振興課へ一本化した。今後、税や水道料金等、減免の措置の対応が多くなると想定している。この課に来た住民の方でもその課で対応し、安心できるよう全庁が一丸となって住民に寄り添った相談を受けられるようにする。

町の対策や情報を知らせることが大事だ、町民は確かな情報で安心する。

コロナ対策の情報提供

多様な手段で

チーム佐川推進課長 情報をこまめに出したい

学校教育の遅れ対策

基本を大切に

教育長 自ら成長する力、伸ばす

町民に寄り添う姿勢と、必要な情報を早く多様な手段で、町民に知らせることが肝要だ。
田村チーム佐川推進課長 町民に寄り添う姿勢が大事だと考えている。それから必要な対策が生まれてくる。
まずは、相談窓口で情報の把握に努め必要な施策を導き出すということが大事だと考えている。
住民のみなさんの安心や、不安の解消が一番なので情報をこまめに出していきたい。

休校で勉強が遅れたからと言って無理をして詰め込むべきではない。
困難な時は、基本に立ち返り、年齢にあった確かな学力をつける。もう一つは人としての力、人間力をつけるのが大事だ。集団の中で授業、生活、行動を通して大事な力をつけていく未来の学校教育の基本を確認しながら焦らず、慌てず対策を進めていくべきだ。



プールでもソーシャルディスタンス

濱田教育長 心配していた再開後の学校生活への不応の報告は受けていない。今後、夏休みの短縮や行事の精選簡素化、コロナ予防対策など、通常と異なった状況での学習となるが、専門家の支援を受けながら、子どもの理解を徹底し、適応に十分配慮する。
また、教育の基本は、自ら成長する力をいかに伸ばすかにあるので、教員の良識と、教育にかけると、子どもたちの自ら伸びていく力を信じて応援していく。

今回のコロナ感染症は、町内でも多大な影響をもたらしている。商工会のアンケートでは、4月には、収入が10%~70%減少したと答えた業者が62%もある。

商工業者に 細やかな対応を

町長 丁寧に対応

中村 卓司 議員



町は、商工業者へ寄り添い、細やかな対応が必要と思われるがどうか。また、町独自で立ち上げたコロナ対策基金3千万円の現状と実績を問う。

堀見町長 丁寧に対応し、申請されてない方に電話を掛けたりしている。

森田産業振興課長 基金の内容は、町からの3千万円と、その他の方より、20件276万7千円の寄附金がある。その基金の中からチーム佐川支え合い事業では①事業者給付金一律10万円が16件、②甚大な収入減少の事業者に30万が2件、40万が1件、50万が4件、③感染予防対策給付金の方が78件で合計1千240万円の給付実績。(5月下旬まで)



守ろう！業者の皆さんを！

黒岩の河川改修については、私も地元のみならずと話しをしながら、やっと軌道にのってきたと思っている。

第1工区について、用地買収は、どれ位進んでいるのか、予算は、どれ位ついているのか等、改修事業の現状と進捗状況について問う。

黒岩の河川改修 進捗状況は

建設課長 用地買収が行われている

池内建設課長 今までの経過は、平成26年度には全体の概略設計、平成27年度には、氾濫解析と環境調査、平成28年度には、7工区中の1工区、約900m区間の左岸側の用地調査、平成29年度には、右岸側調査に加え両岸のボーリング地質調査、詳細測量設計が実施されている。平成30年度には、黒岩橋の橋梁予備設計、土地鑑定評価業務が実施されており、地元説明会の開催を経て、用地買収に着手されている。令和

元年には、用地買収を継続し、146筆のうち、35筆の用地買収が行われた。令和2年度には、予算3千万円で引き続き用地買収が行われる。

また、用地買収箇所の中には、合意未形成で、まだ了解が得られてない土地等が含まれており、今後は、円滑に工事が着手できるように用地交渉が行なわれていく。



毎年氾濫する柳瀬川



下川 芳樹 議員

新型コロナウイルス被害者支援のため実施する、町単独事業「コロナに負けん！チーム佐川支援あい基金」の基金額が不足した場合、善意の寄附金のみでなく行政の支援をしっかりと行っていくべきだ。

コロナ対策支援あい基金 不足額は行政で

町長 町から補助金として追加

堀見町長 今後、第2弾、第3弾の支援をしていく。また、感染拡大の第2波も想定される。基金の額が足りなくなれば、町から補助金として追加の補助をしたい。

第2波に備え在宅での リモート学習を

教育長 県とも協議し検討したい

町内の小中学校において、コロナの第2波による影響で休業しないため、オンラインで行う在宅でのリモート学習を積極的に取り組むべきだ。また、コロナの影響が身体、命に著しく及ぶ児童、生徒には、在宅での学習が保障されるべきだ。

濱田教育長 ネット環境を強化して行くことは、有効であると思っている。しかし、県の教育ネットを家庭で使用することは、セキュリティ確保のため、原則禁止となっている。今後の対応を県とも協議し検討していきたい。障害児対応もある中で、GIGAスクール補助金を使い環境整備に努めていきたい。



お困りの方は相談を！



草刈り作業は大変だ！

除草作業参加者 募る方法検討を

チーム佐川推進課長 地域に寄り添い支援

住民が参加する除草作業や、道路・水路の清掃を兼ねた維持管理作業により、地域の景観や環境が保たれてきた。しかし近年、作業の中心的な役割を果たしてきた農業者や町民の参加が、高齢化により減少している。このままでは景観が守れない。若い世代の参加者を募る方法を検討するべきだと思うがどうか。

田村チーム佐川推進課長 景観維持等は、重要な活動であると考えている。今後、活動の継続も難しくなると思う。自治会ごとに地理的な条件、面積、年齢構成など状況が違ってくるから、地域に寄り添い、住民の主体的な活動、取り組みを支援したい。

その他の質問
○コロナ、町内業者への影響は
○コロナ第2波への備えと対策



宮崎 知恵子 議員

新型コロナ対策予算

具体的活用は

総務課長 子育て支援策など

新型コロナ対策費として、地方創生臨時交付金が出る。その限度額と具体的活用は。

麻田総務課長 地方交付税を含めた一般財源で、町民プールの休業要請に営業補償と定例会の補正予算をあわせ522万9千円。地方創生臨時交付金額は、9千528万1千円。活用事業は、所得減少事業者3千万円、「子育て世帯臨時特別給付金」1千400万円「高知県休業等要請協力金660万円」「新型コロナウィルス感染症対策事業応援補助金」200万円等が活用事業。



道の駅はいつでもできる

新文化拠点施設、道の駅

PFIを取り入れては

町長 採用しない

新文化拠点施設・道の駅事業は、莫大な公費の投入が必要である。建設後、赤字運営で公費負担があつてはならない。国が推奨する官民連携事業PFIプロジェクトを取り入れてはどうか。また、道の駅の情報が少ない。もっと積極的に情報発信し、行政、議員、自治体、町民、同じイメージができるよう意思疎通を図ることが必要ではないか。掘見町長 道の駅事業は、地域の生産者を支援バックアップする部分、情報発信する部分、浮揚するため必要と考えているので、PFIは採用しない。新文化拠点の方は、国の補助金、県の補助金等があるので採用しない。森田産業振興課長 広報、町ホームページ等、積極的に情報発信する商品開発に限らず「みんなてつくる道の駅」を基本姿勢として取り組む。

食育大切 郷土料理の

教室開催を

教育長 準備している

ウイルスには免疫力が重要で一昔から知性、知育、徳育、体育の前に食

育がありと言われ、食の乱れは国の乱れとも言われている。地方の郷土料理の教室を開催してはどうか。

濱田教育長 食生活改善グループの皆さんに、簡単にできる郷土の食材を使ったレシピをつくっていただき、動画に撮って準備している。

ふるさと力と人間力の部分をあわせ、学校から地域に広がり、地域全体で教育できるよう文教の町の実現をしていく。



レシピの動画

あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ

No.53



やっとできた、佐川地区のあったか！

佐川地区にあったか ふれあいセンター設置を (平成30年3月・6月定例会)

佐川町の地域福祉計画では、5地区にあったかふれあいセンターをつくる計画がある。佐川地区にもあったかふれあいセンターを！

(坂本議員)

〈関連質問〉 (下川議員・中村議員)

健康福祉課長・町長 答 弁

令和2年4月に開所

あったかふれあいセンター夢まちは、町内5番目のあったかふれあいセンターとして、NPO法人さかわ夢まち協議会が運営主体となり、令和2年4月1日に開所された。

どう
なった

検討する

あったかふれあいセンター設置については、関係機関と運営母体等について、丁寧に協議し決定する。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月4日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

委員長 下川 芳樹
副委員長 西森 勝仁
委員 坂本 玲子
委員 宮崎 知恵子
委員 橋元 陽一
※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

皆様こんにちは!!
私はこの議会だよりを、皆様方へのラブレターと思って書いていますが、どれだけの方の目にとまっているのか不安です。
しかし、皆様の生活を良くするのにも悪くするのも政治次第です。
国保税や水道料などを値上げするにしても、また道路整備をするにしても、町長から提出された議案をしっかりとチェックし、是々非々によって議決することが必要です。
決して、知らぬ間にじわじわと真綿で首をしめられるようなことがあつてはダメです。
もうはや、来年10月には町長も議員も選挙です。一年はすぐ来ます。無関心であれば天にツバするのと同じです。どうか皆様には、しっかりと関心をもっていたくださいますようお願いし、私が輪番で執筆する最後の編集後記とします。

西森 勝仁

編集後記

地域で がんばる

今回は発足以来
半世紀近く地域で
活動してきた佐川
少年柔道クラブの
永田良助監督にお
話を伺いました。

佐川少年柔道クラブ

「教室はどんなきつかけ
で、いつ頃からはじまっ
たのですか。」

昭和46年頃に子どもた
ちの中に、「柔道をやり
たいな」という声が出始
めて、翌年に佐川警察署
の道場を利用して、佐川
町青少年柔道クラブが発
足。

平成12年に佐川少年柔
道クラブに名前を変えて
現在に至っています。

「すごいですね。もう48
年になるのですね。指導
者は何人ですか。」

現在は私、永田と間
章さん、掛水功一さん、
松原勝利さんの4人で
やっています。

「練習はいつやっていま
すか。」

毎週水曜日が休みで、
平日は、夕方6時から8
時半まで。土日や祝日、
春夏冬の休みは、午前9
時から12時までです。

「所属メンバーは。」

今、花園保育園の年長
さんから、加茂小、斗賀
野小、佐川小の6年生ま
での男女16人です。

「柔道を通して子どもた
ちに伝えたいことは。」
礼儀作法や、人に対す
る思いやりを大切にする
こと。そして、柔道でも
何でも、自分で考えて行
動できるようにすること
です。

「めぐりつないでね。」
親を守るように、強
くなりたい。大会で優勝
したい。
「周りに伝えたいこと
は。」
練習はしんどい時もある
けど、柔道は楽しいか
ら、一緒にやろうと声を
かけたい。

「一緒に柔道する仲間が
増えたらいいね。楽しん
でね。」

また、卒業生が道場に
顔を出すたびに成長して
いく姿を見るとうれしい
です。

「山本翔キャプテンに
聞きました。」
「柔道をはじめたきつ
かけは。」

友達がやっていてかっ
こよくて、自分もやって
みたいと思いました。

あなたの周りで、佐川
町の元気のために頑張っ
ている「組織やグループ」
をぜひご紹介ください。



元気に柔道を楽しんでいるクラブメンバー



逆立ちして身体をきたえる



元気に柔道を楽しんでいるクラブメンバー



エイ！やー！